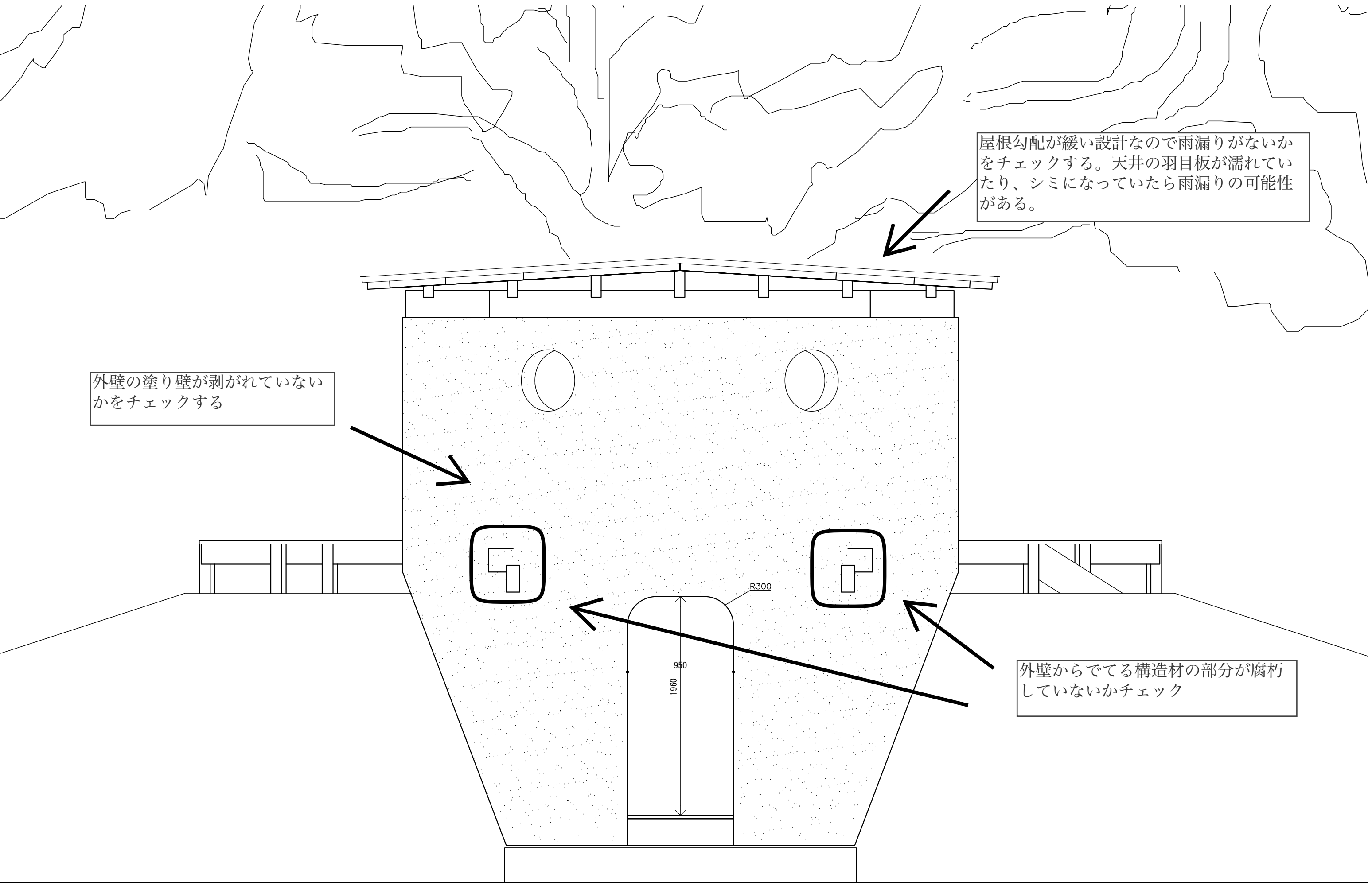


コースの家
メンテナンスガイドブック

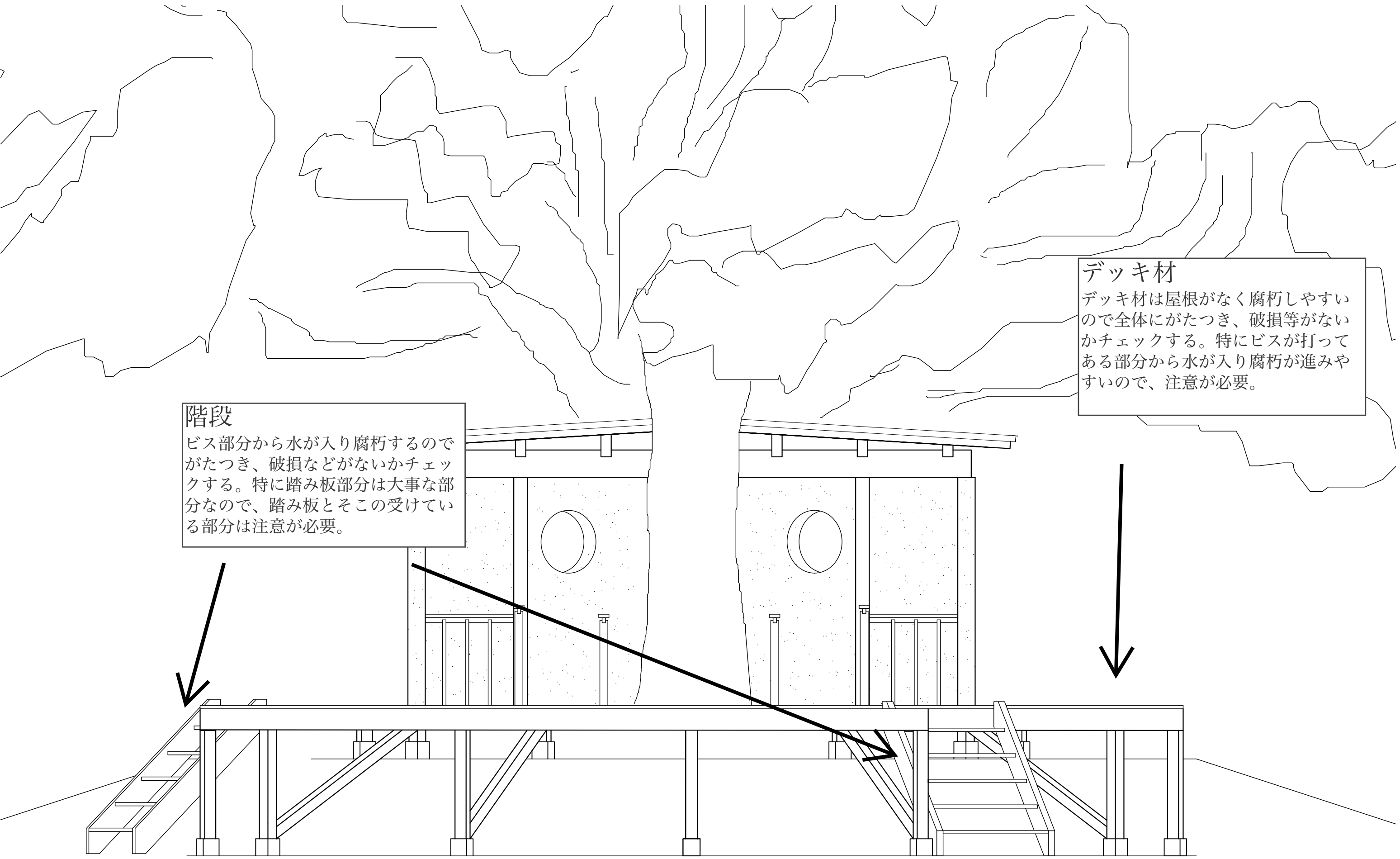


屋根勾配が緩い設計なので雨漏りがないかをチェックする。天井の羽目板が濡れていたり、シミになっていたら雨漏りの可能性がある。

外壁の塗り壁が剥がれていないかチェックする

外壁からでてる構造材の部分が腐朽していないかチェック

R300
950
1960



階段

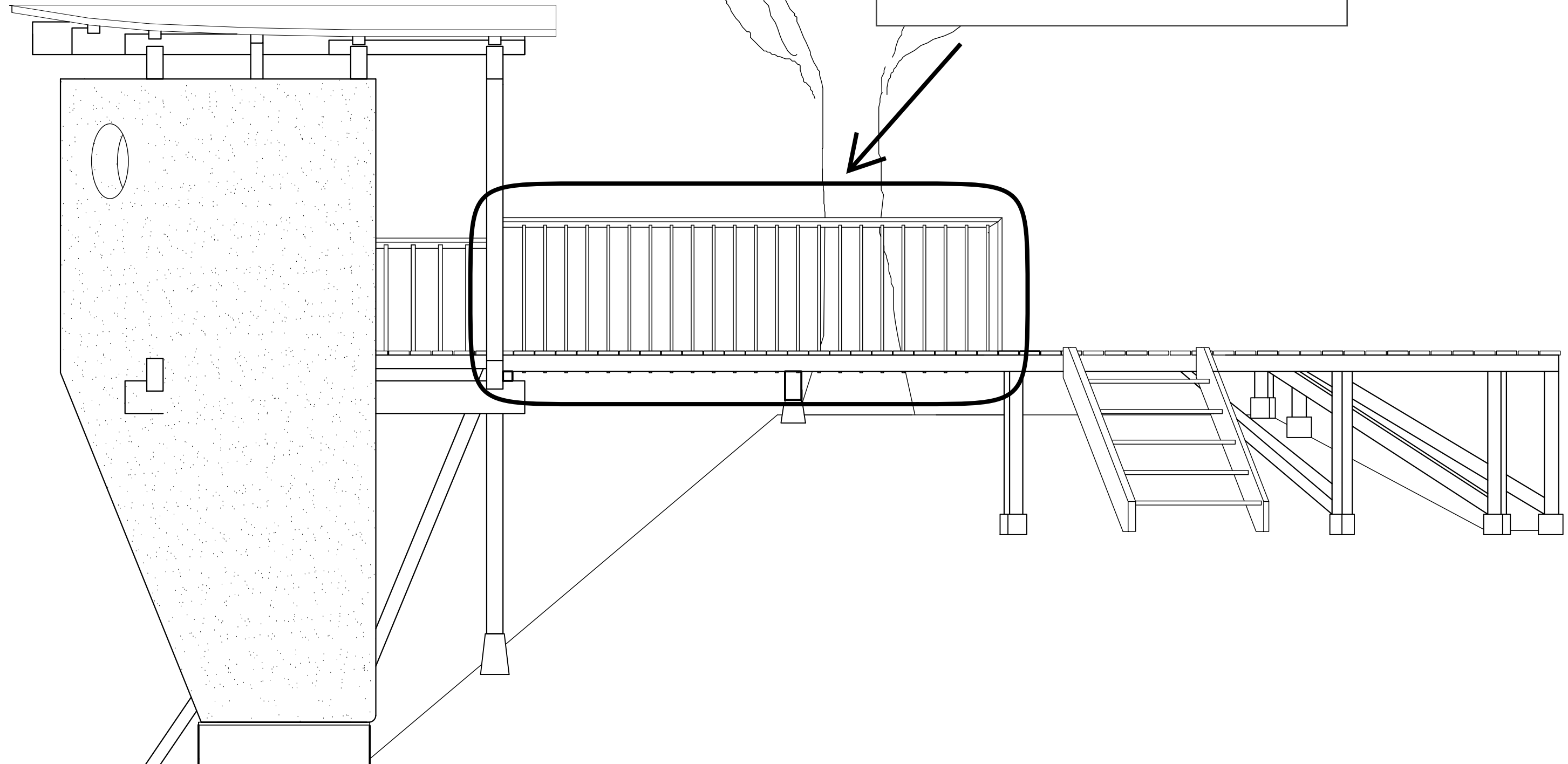
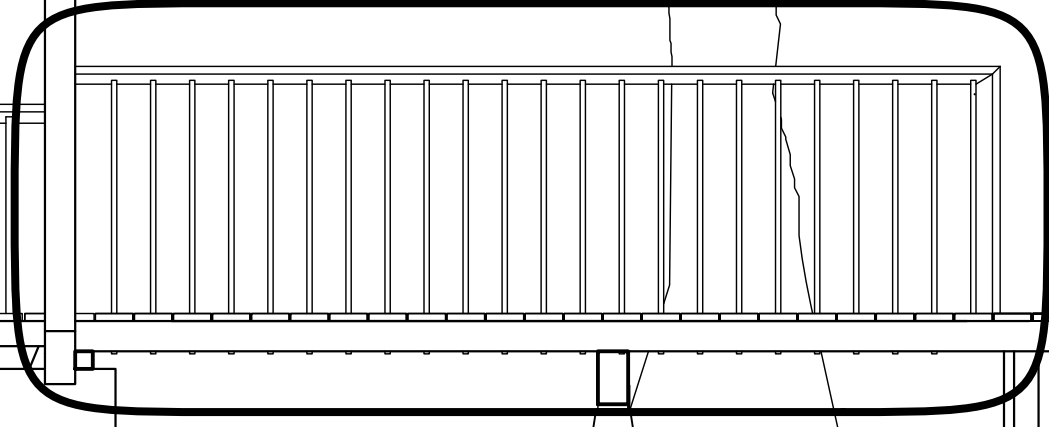
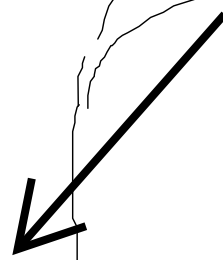
ビス部分から水が入り腐朽するので
がたつき、破損などが無い
かチェックする。特に踏み板
部分は大事な部分なので、
踏み板とそこの受けている
部分は注意が必要。

デッキ材

デッキ材は屋根がなく腐朽し
やすいので全体にがたつき、
破損等がないかチェックする。
特にビスが打っている部分
から水が入り腐朽が進みやす
いので、注意が必要。



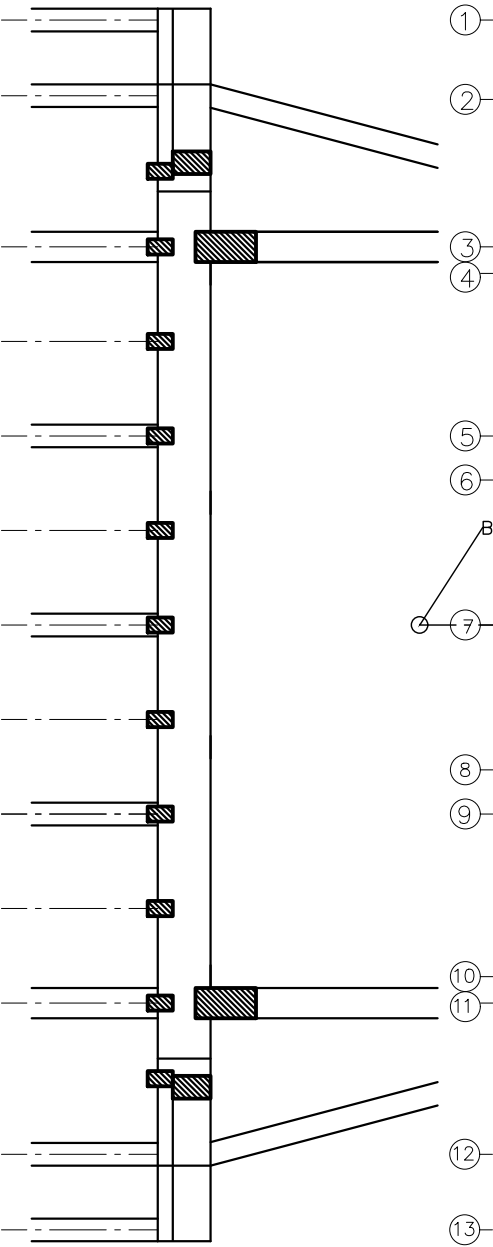
通路の手すり
 手すりは安全を担保するのに大事な部分であり、無塗装でもあるので腐朽に注意。大引きを貫通させて、手すり子をたててあるのでその部分が腐朽していないかチェックが必要



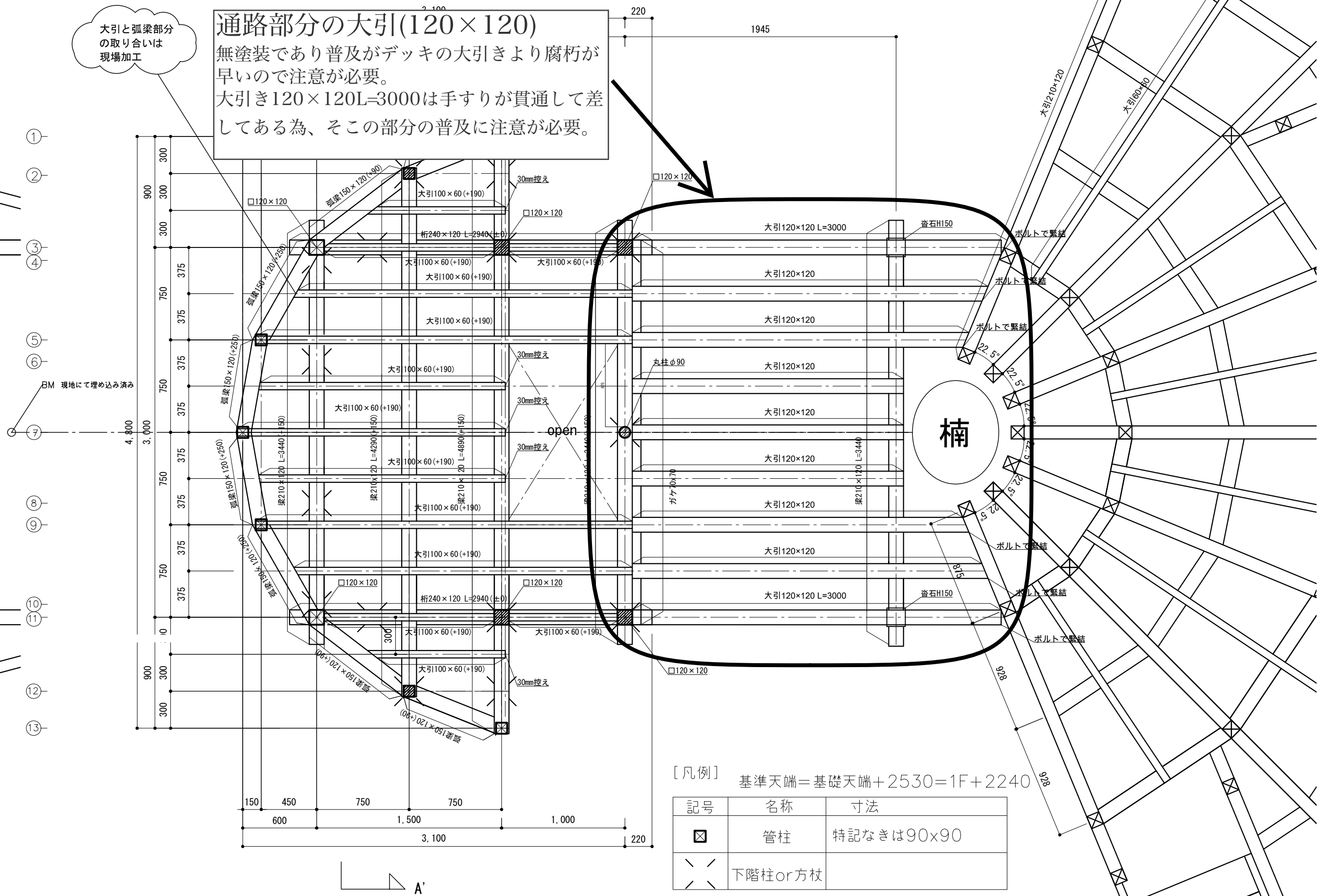
へ ほ に は 又ろ ろ い

大引と弧梁部分の取り合いは現場加工

通路部分の大引(120×120)
 無塗装であり普及がデッキの大引きより腐朽が早いので注意が必要。
 大引き120×120L=3000は手すりが貫通して差してある為、その部分の普及に注意が必要。

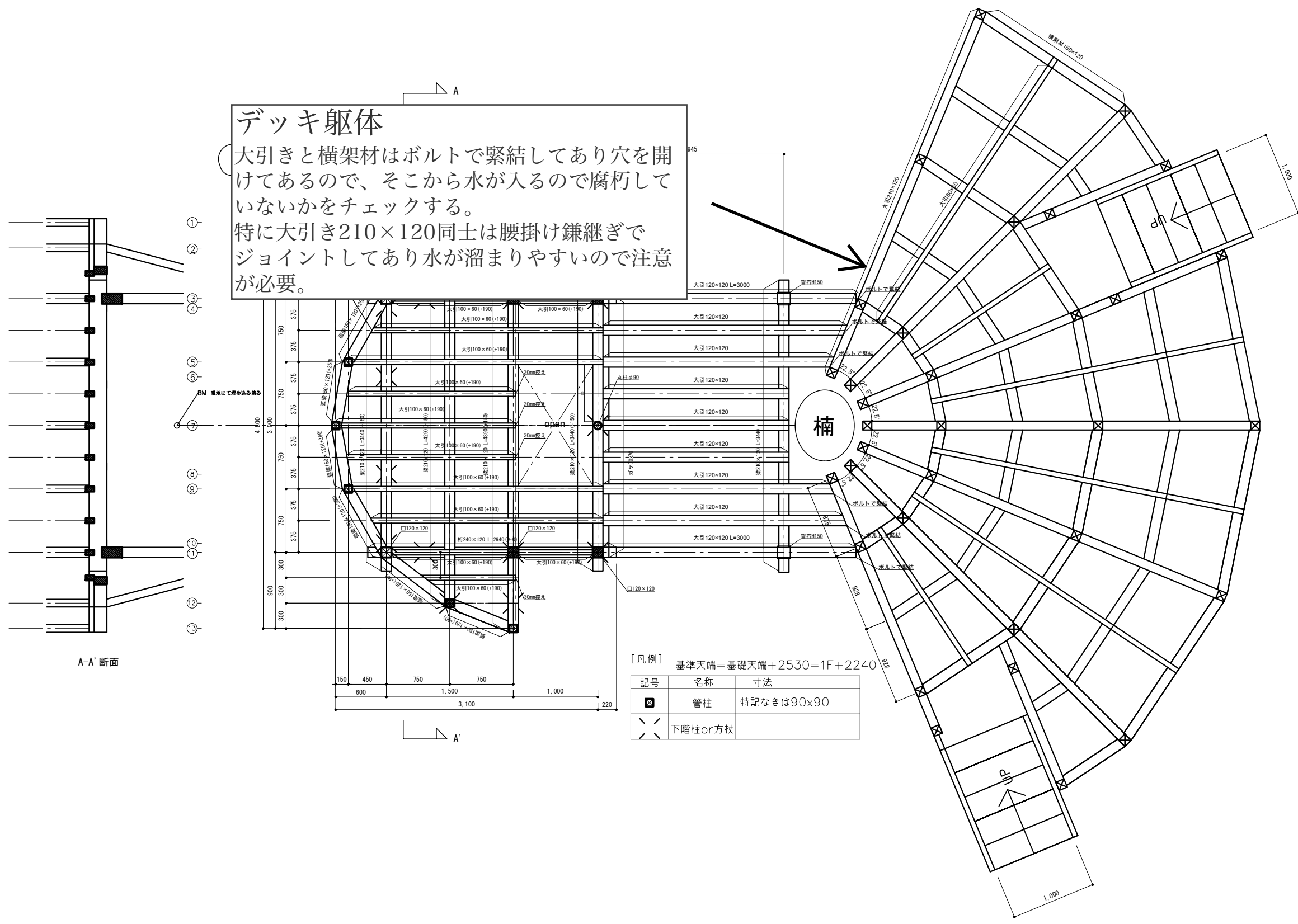


A-A' 断面



[凡例] 基準天端 = 基礎天端 + 2530 = 1F + 2240

記号	名称	寸法
☒	管柱	特記なきは90×90
∕ ∕	下階柱or方杖	



デッキ躯体

大引きと横架材はボルトで緊結してあり穴を開けてあるので、そこから水が入るので腐朽していないかをチェックする。
 特に大引き210×120同士は腰掛け鎌継ぎでジョイントしてあり水が溜まりやすいので注意が必要。

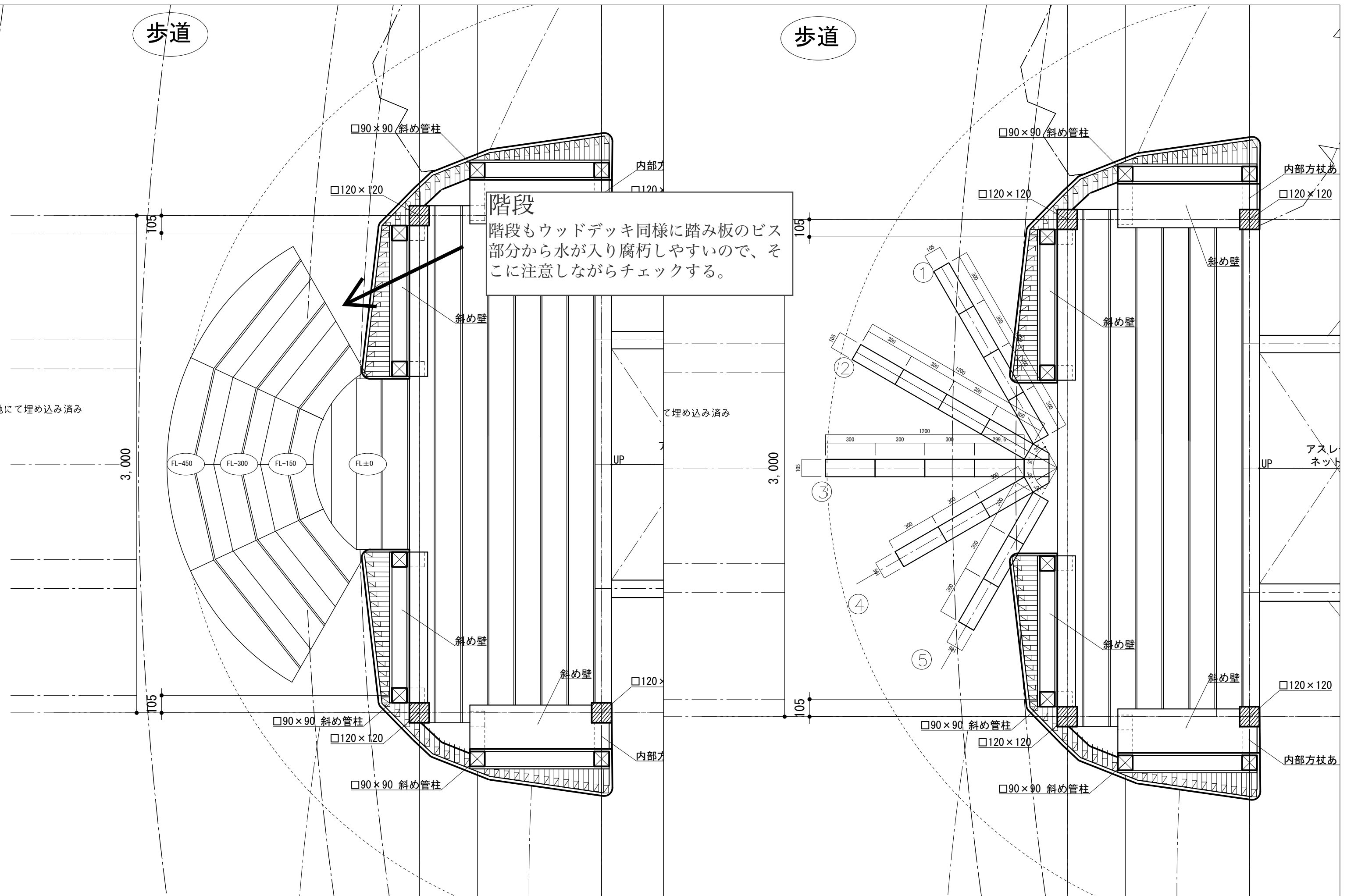
桶

[凡例] 基準天端=基礎天端+2530=1F+2240

記号	名称	寸法
☒	管柱	特記なきは90×90
⋈	下階柱or方杖	

歩道

歩道



DRAW: 田村聡

その他注意事項

- 年に一度は以上までに記載した場所を確認すること
- メインのチェックする場所は記載したところであるが、他の場所も併せて確認すること
- 腐朽、破損の判断が難しい場合は東濃ひのき及びアカデミーに確認してもらうこと
- 楠は常緑樹だが春に紅葉して一気に落葉するので、その時に葉が屋根やデッキに溜まりっぱなしにならないようにすること（雨漏りや湿気がたまり腐朽の原因になります）
- 実際に腐朽箇所や破損箇所を見つけた場合は、建物内部に設置された施行者が記載された真鍮プレートを確認して、当該施行業者に連絡すること